ニュー・エコロジーハウスの目指すもの

1999年は「国際高齢者年」であり、高齢者比率が急速に高まる世相の中、国連は高齢者の自立、参加、ケア、自己実現、尊厳を確立すべく、国連原則を促進させようとしています。特に地方における農家は高齢化する親をかかえ、せまりくる介護保険制度を控えて、主婦の負担が増加しつつあります。

一般に、農家住宅はバリアフリー化の対応が遅れ、高齢者には住みにくく、介護しにくい環境となっています。しかも広い敷地にもかかわらず、自然エネルギーについては未利用です。

21世紀を迎える今、地方都市近郊農家がかかえる諸問題を解決しつつ、地球にやさしいニューエコロジー住宅を模索し、社会に啓発、情報発信基地としたいとの願いを込めて建築しました。

技術士（環境・建設部門）小 山　明

ニュー・エコロジーハウスの概要

◆ 特　色

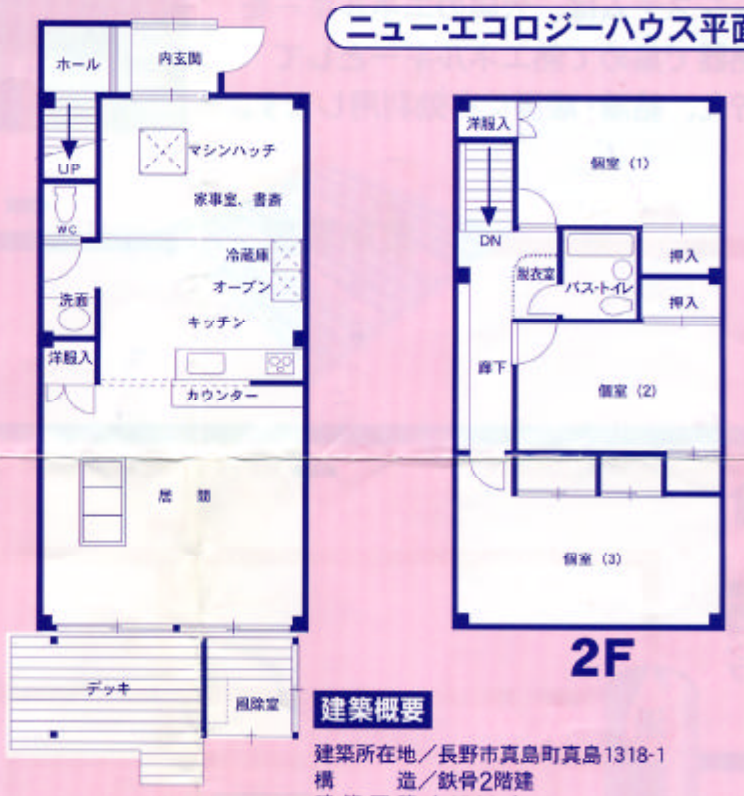
自然エネルギーの活用による、省エネルギーを図ったモデルハウスをめざし、多目的ホールを持つ21世紀型住宅。

◆ 設　備

ソーラーシステムによる給湯・暖房（床暖房）、ソーラー発電による電力供給、井戸水利用による冷房システム、雨水を貯溜し散水および水洗トイレの排水に利用する。

このニュー・エコロジーハウスは通商産業省のソーラーシステム普及啓蒙促進事業費補助金を使って設置されています。

ニュー・エコロジーハウス平面図



建築概要

建築所在地／長野市真島町真島1318-1
構　　造／鉄骨2階建
建 築 面 積／ 67.86㎡
床　面　積／146.82㎡
断 熱 構 造／床（FGW40mm）
　　壁、屋根、外断熱（スタイロフォーム80mm）
開　口　部／アルミ樹脂サッシュペアガラス
気 密 性 能／2.0㎠／㎡（信州大学工学部社会開発工学科による調査）

ソーラーでCO₂削減を

わたしたちは、生活していくために毎日、石油や石炭などの化石燃料を消費しています。そのうちのいくらかでもソーラーエネルギーで賄えば、CO_2の排出を抑制できるだけでなく、化石燃料の枯渇化に多少なりともの歯止めをかけることができます。

灯油1kg（1.25ℓ）で約3kgのCO₂が発生！

たとえば、ソーラーシステムを一台設置することで年間約570ℓ（約456kg）の灯油を節約でき、同時にこれは1440kg（灯油換算）のCO_2の発生を抑えることと同じです。国内の一戸建て住宅（推計24,660千戸）の2軒に一軒にソーラーシステムが設置されると、日本の家庭のCO_2総排出量4738.5万トン（1995年）の約4割を削減できます。

※数値は（社）ソーラーシステム振興協会の試算による。